



JST だより #013

SCHOOL
Bayon

コロナ禍で学校閉鎖中の 生徒たちの学習状況はいかに？

閉校期間中（2020年3月～2021年12月）の学習について調査！

以前の JST だよりでご紹介したように、コロナ禍でバイヨン高校/附属中学校は長期間学校が閉鎖され、その間テレグラムというアプリを使ったオンライン授業が行われました。休校中、生徒たちは自宅で十分な勉強ができたのでしょうか？ JST では生徒たちの学習状況を把握するため、Google Form を使用してアンケートを実施しました。今回はその結果の一部をご紹介します。



↑ Google Form で作成したアンケートのスマホ画面

☑ Google Form でのアンケート調査とは？

Google Form は PC やスマートフォン（以下スマホ）でアンケートを作成し、回答し、自動集計することができるツールです。

上の写真のように今回バイヨン高校の生徒たちは自分たちのスマホを使って回答し、スマホを持っていない生徒は友達に借りて回答しました。

アンケートの結果は自動的に集計され、回答数と割合をグラフで確認できます。作成者は問題の形式（選択、複数選択、記述）を選ぶこと、また、質問の回答に応じて次にどのセクションに進ませるかを設定することもできます。

☑ アンケートの概要

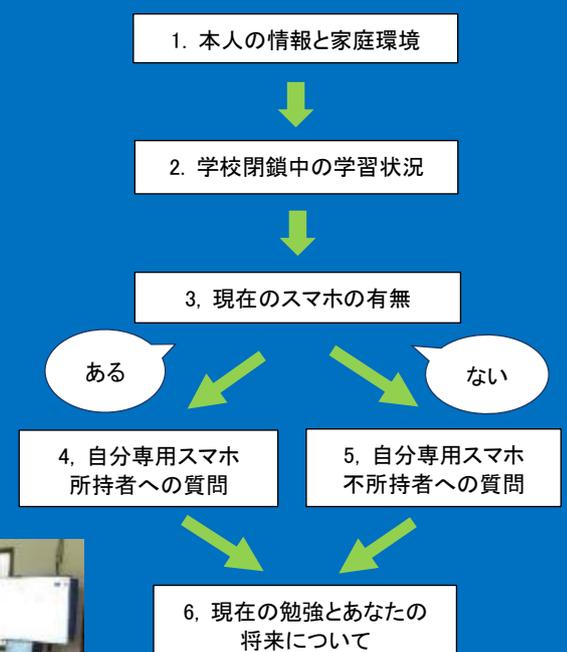
対象者：バイヨン高校生徒（10年生、11年生、12年生）計 323 名
アンケート実施時期：2022年5月

アンケート構成：計 6 セクション

- セクション 1: 本人の情報と家庭環境について（全 14 問）
- セクション 2: 学校閉鎖期間中の学習状況について（全 12 問）
- セクション 3: 自分専用のスマホの有無についての質問（全 1 問）
※セクション 3 の回答で次に進むセクションを選択（右図参照）
- セクション 4: 自分専用スマホ所持者のネット活用について（全 3 問）
- セクション 5: 自分専用スマホ所持者のスマホに対する意識と連絡手段について（全 2 問）
- セクション 6: 現在の勉強と将来の希望進路について（全 6 問）

各学年回答率：10年生：86.6%（149人中129人）
11年生：84.3%（140人中118人）
12年生：97.4%（78人中76人）

実施方法：英語のソリヤ先生の説明を受けながら実施（写真右）



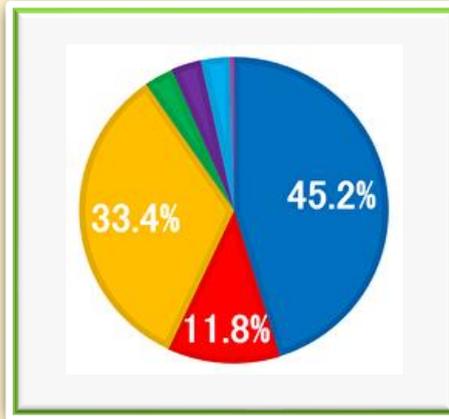
セクション1：本人と家庭環境について

ここでは家庭の状況などについて質問をしました。 ※小数第四位で四捨五入しているため 100%にならない場合があります。

Q, 住んでいるところ

A,

- アンコールクラウ村: 45.2% (146人)
- コックベン村: 11.8% (38人)
- コックタナオ村: 33.4% (108人)
- コックルール村: 3.1% (10人)
- プラサート・チャット村: 3.1% (10人)
- コクタチャン村: 3.1% (10人)
- その他: 0.3% (1人)



★インターネット環境

バイヨン高校エリアの村々にはインターネットのケーブル配線はなく、各自のスマホのSIMカードを使ってネット接続を行っています。電波が弱く、スムーズな送受信が難しい環境です。

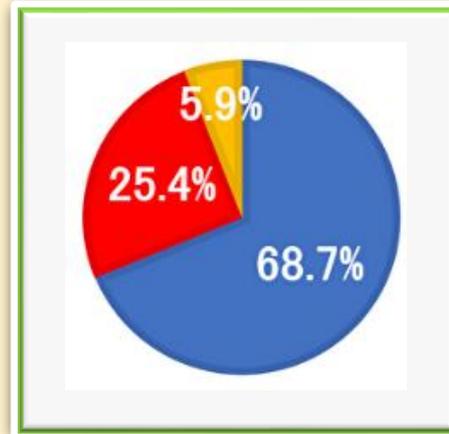
Q, 家族はローンを組んでいますか？

A,

- はい: 68.7% (222人)
- いいえ: 25.4% (82人)
- わからない: 5.9% (19人)

ローンとは…

国が15歳以上に発行するIDカードがあり、保証人がいれば借りることができるマイクロファイナンスのこと。



★ローンの有無

マイクロファイナンスについてはJSTだより vol.8 と vol.10でもご紹介しましたが、ローンを組んで家の増築やバイクを購入している家庭が多いようです。ローンの返済ができなくなると仕事を求め家族で他の州に移住したり、働くために退学したりする生徒も出てきます。

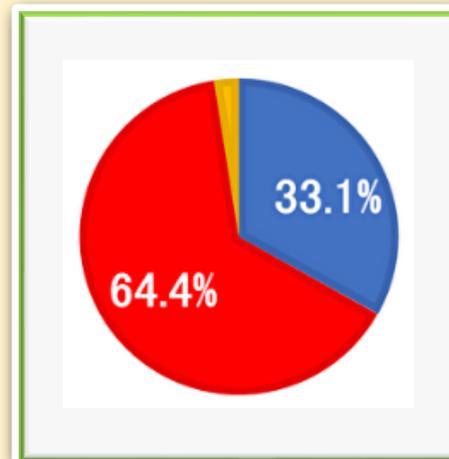
Q, 家族は「生活支援カード」を持っていますか？

A,

- 持っている: 33.1% (107人)
- 持っていない: 64.4% (208人)
- わからない: 2.5% (8人)

「生活支援カード」とは…

国が貧困家庭を対象に発行するカード。(詳しくはJSTだより vol.6をご覧ください)



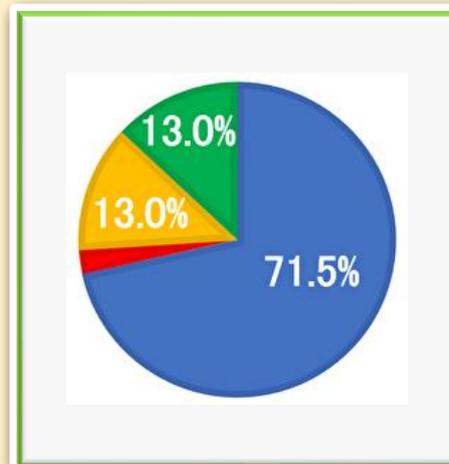
★必需品となっているスマートフォン

別の質問で現在自分専用のスマホの有無を聞きましたが、生活保護を受けている家庭とそうでない家庭で大きな差はありませんでした。つまり、生活に余裕がなくてもスマホを購入していることがわかりました。

Q, 家族の収入に変化はありましたか？

A,

- 減った: 71.5% (231人)
- 増えた: 2.5% (8人)
- 変わらない: 13.0% (42人)
- わからない: 13.0% (42人)



★収入と生徒の勉強

バイヨン高校は遺跡に近く、生徒の親の職業は観光業が多いため、コロナ禍で失業したり半日だけ働くシェアワークによって、多くの家庭で収入が減少しました。しかしそんな中でもわが子の学習を優先し、親がインターネット代や塾代を出してくれたと話す生徒もいました。

セクション2：学校閉鎖期間中の学習状況について

ここでは休校中の学習状況などについて質問をしました。

🏠 学校閉鎖中の学習方法 ～オンライン授業とプリント学習～

学校閉鎖中はテレグラムというチャットアプリを使った授業のライブ配信と、プリントを使った学習が行われていました。

家にパソコンやタブレットがある生徒はおらず、生徒たちはスマートフォンでオンライン授業配信を受けなければなりません。また、バイヨン高校の先生方が作ったプリントは学校の廊下に置かれ、それを各自取りに来て自宅で学習をしていました。

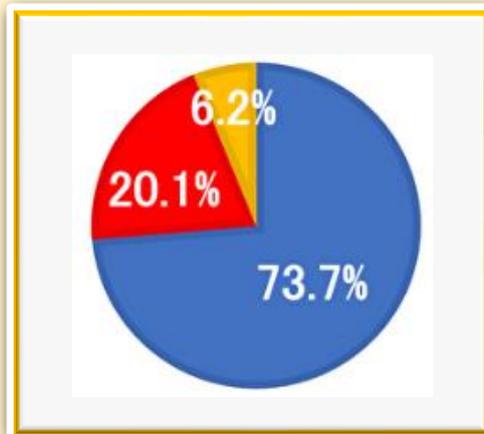
テレグラムは休校中の学校からの連絡手段としても使用されていましたが、現在でもバイヨン高校では、学校全体と学年ごとのグループをテレグラム上に作り、グループチャットとして生徒に連絡事項を送っています。

なお、カンボジアでは携帯やスマートフォンはその都度チャージすることでネットに接続されるようになっており、チャージ金額は1ドル、1.25ドルなど自分で選ぶことができます。また、ほとんどの生徒は中古品のスマートフォンを使用しています。

Q, コロナで学校閉鎖中、家にスマートフォンがありましたか？

A,

- 自分のスマートフォンがあった：73.7%(238人)
- 家族のスマートフォンがあった：20.1%(65人)
- スマートフォンはなかった：6.2%(20人)



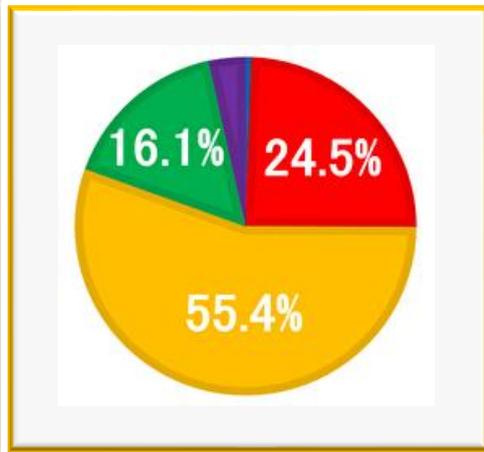
★コロナ禍で増えたスマホ所持者

コロナ前の在校生は高校1年生までだったこともあり、スマホを持っている生徒は1クラス5～6人程度でした。学校閉鎖中に多くの生徒がスマホを購入したことがわかります。なお、自宅にスマホがなかった生徒は近所の友達のスマホと一緒に授業を受けていました。

Q, プリントでの勉強は理解できましたか？

A,

- ほぼすべて理解できた：0.6%(2人)
- 75%程度理解できた：24.5%(79人)
- 半分程度理解できた：55.4%(179人)
- 25%程度理解できた：16.1%(52人)
- ほとんど理解できなかった：3.4%(11人)



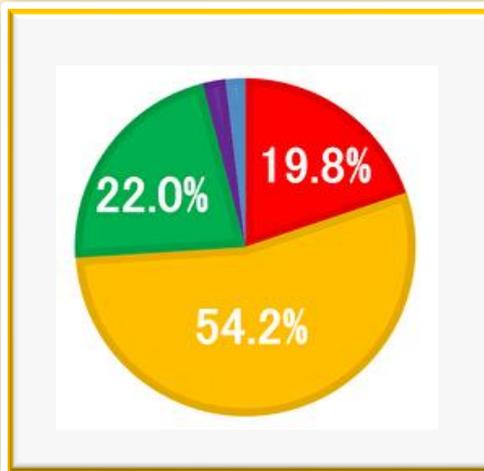
★プリント学習の理解度

休校中、生徒たちは先生が作ったプリントを学校に取りに行き自宅で自習していました。しかし、別の質問で毎回プリントを取りに行ったと回答した割合は47.4%で、取りに行かない生徒もいたようです。また、下記のオンライン授業のグラフと比較すると、プリント学習の方が理解度が高いことがわかります。

Q, オンライン授業は理解できましたか？

A,

- ほぼすべて理解できた：0%(0人)
- 75%程度理解できた：19.8%(64人)
- 半分程度理解できた：54.2%(175人)
- 25%程度理解できた：22.0%(71人)
- ほとんど理解できなかった：2.2%(7人)
- オンライン授業は受けなかった：1.9%(6人)

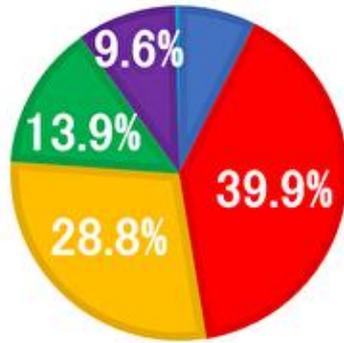


★オンライン授業の理解度

「オンライン授業をどのくらい受けていたか」という別の質問で75%以上と回答した割合は30.3%(98人)でした。一方、オンライン授業は75%以上理解できたと回答した割合は2割弱となりました。オンライン授業はテレグラムというアプリでライブ配信され、後から見返すことはできない形態でした。

Q, インターネットの接続具合はどうでしたか？

- A,
- いつも良かった: 7.4% (24 人)
 - 時々悪くなった: 39.9% (129 人)
 - 良い時と悪い時が半分ずつくらいだった: 28.8% (93 人)
 - 良くない時の方が多かった: 13.9% (45 人)
 - いつも悪かった: 9.6% (31 人)
 - オンライン授業は受けなかったの
でわからない: 0.3% (1 人)

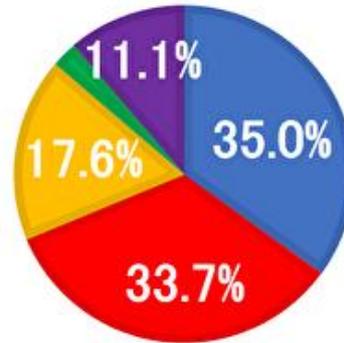


★受講のための工夫

別の聞き取り調査でオンライン授業について聞いた際、自宅ではネットが繋がりにくかったため田んぼの真ん中で授業を受けていたと話した生徒もいました。
特にコックタナオ村のネット環境は良くなかったようで、21.3% (23 人)の生徒が「いつも悪かった」と回答しました。

Q, 毎日、何時間くらい勉強をしていましたか？

- A,
- 1 時間: 35.0% (113 人)
 - 2 時間: 33.7% (109 人)
 - 3 時間: 17.6% (57 人)
 - 4 時間: 2.5% (8 人)
 - 5 時間以上: 11.1% (36 人)



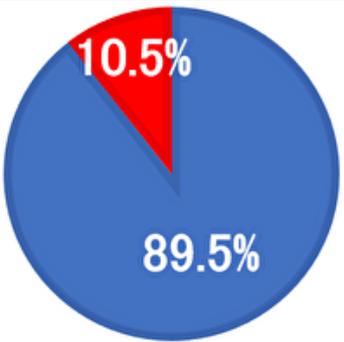
★スマホと勉強時間

学校が開いていた時は一日 4 時間 30 分の授業に加え自宅や塾で学習できていたため、生徒たちは毎日最低でも 5 時間程度は勉強していましたが、休校期間中の勉強時間は「1 時間」と回答した生徒が最も多く、コロナ前と比較すると勉強時間がかかなり短くなっていました。

現在のスマホ所持率はは怎么样了というかと...

Q, 現在、自分専用のスマートフォンを持っていますか？

- A,
- 持っている: 89.5% (289 人)
 - 持っていない: 10.5% (34 人)

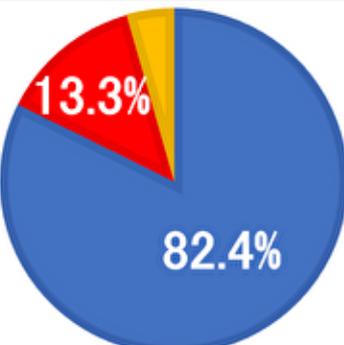


★現在は約 9 割が所持

学校閉鎖中と比較すると自分専用のスマホを所持している割合が 15.8%増加しました。学校が再開した現在も休校中に使われていたテレグラムというアプリが学校からの連絡ツールとして使われているため、所持者が増加したと思われます。

Q, 学校閉鎖中は、それ以前より家事を手伝う時間が増えましたか？

- A,
- 増えた: 82.4% (266 人)
 - 変わらない: 13.3% (43 人)
 - 減った: 4.3% (14 人)



★家事と家庭状況の関連

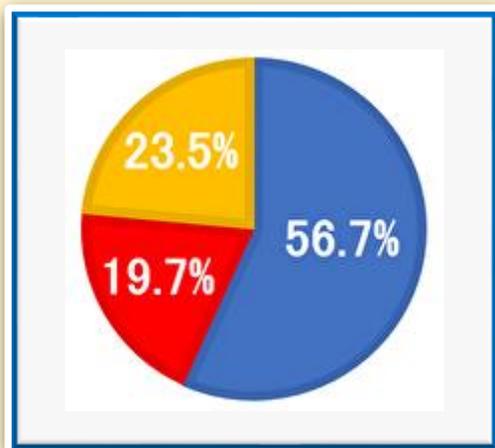
回答者別では、ローンがある生徒の方がそうでない生徒よりも「増えた」と回答した割合が高くなりました。
自宅で小規模な店舗を構えたり、農業・畜産業を営んだりしている家庭も多いため、生徒が家にいる時間が長くなると家事を手伝う時間が増えるのでしょう。

セクション4：自分専用スマホ所持者のネット活用について

現在自分専用のスマホを所持している 289 人の生徒に、スマホの活用などについて質問をしました。

Q, 以前よりスマートフォンを活用するようになりましたか？

- A,
- 以前より活用している：56.7% (164 人)
 - 以前も今も同じくらい：19.7% (57 人)
 - 以前より活用していない：23.5% (68 人)



★休校中のスマホの有無との相関

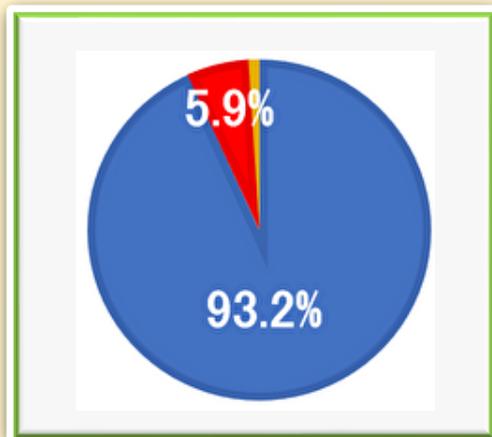
この質問を休校中の自分専用スマホ所持者/家族のスマホ所持者/不所持者で比較すると、「以前より活用している」と回答した割合は順に 61.1% / 42.9% / 23.1% となり、休校中に自分のスマホを持っていた生徒の方が現在もより活発にスマホを活用していることがわかります。

セクション6 現在の勉強と将来の希望進路について

ここでは学習状況や希望進路などについて質問をしました。

Q, 勉強は好きですか？

- A,
- 好きです：93.2% (301 人)
 - どちらかといえば好きです：5.9% (19 人)
 - 好きでも嫌いでもありません：0.9% (3 人)
 - どちらかといえば嫌いです：0% (0 人)
 - 嫌いです：0% (0 人)



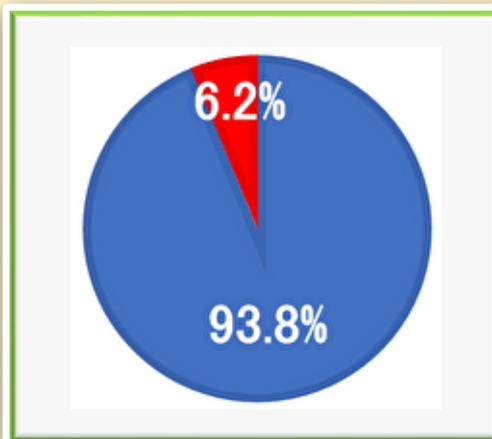
★勉強も学校も好き！

9 割以上の生徒は勉強が好きであり、勉強が嫌いな生徒はいないことが明らかになりました。また「学校は楽しいですか？」という質問では「楽しい」「どちらかといえば楽しい」の割合がそれぞれ 83.6% (270 人)、10.8% (35 人) という結果となりました。

Q, 高校卒業後、大学へ進学したいですか？

- A,
- はい：93.8% (303 人)
 - いいえ：6.2% (20 人)

大学へ進学するには…
カンボジアでは高校卒業試験があり、大学に進学するためには卒業試験の合格が必須になります。



★バイヨン高校から大学へ

ルー校長によると今年の大学進学希望者は以前よりも多いようですが、どれくらいの人数が入学できるかどうかはわからないそうです。別の質問で現在塾に通っている割合を聞いたところ、80.5% (260 人) が通っていると回答しました。

SCHOOL
Bayon

今回のアンケート結果を受けて

今回のアンケートでは新型コロナウイルスによる学校閉鎖中の勉学への影響について、特にオンラインの活用を中心に調査を行いました。村別、休校時のスマホの有無、ローンの有無、生活支援カードの有無でも分類して分析をしました。ネット環境や不況などといった問題がある中で、生徒たちはなんとか授業に食らいついていたことが伺えます。ただしその一方で、コロナ禍で仕事を求め家族で他州に移住したり、働くために退学した生徒が 60 人ほどいたのも事実です。

次回の JST だよりでは、現在のバイヨン高校のスマートフォン活用についてさらに深掘りしてお届けする予定です。お楽しみに！